



豊間根信議員
(政和会)

荒川地区の基盤整備事業の進展は

実現へ向け支援する

問 荒川地区の合意形成の実現へ向け、どのような考えで対応するか。

佐藤町長 土地改良区では改めて地区説明会や意向調査を行うなど、事業に同意いただけるよう動いている。事業の実現へ向け、町も関係機関と連携し支援する。

問 豊間根地区は順調に進んでおり、荒川地区においては9割近い人が賛成と聞くと、町の具体的な支援の方法について問う。

尾形農林課長 荒川地区、農林振興センター、土地改良区と連携し、事業の趣旨を再度説明し取り組んでいく。町の大きなメリットとして通学路整備、長年課題の石峠地区の排水路整備、用排水分離などがある。改良区



基盤整備事業の実施が望まれる荒川地区

の協力により共に事業を実現させていきたい。

問 町の農業施策においては重要な位置付けを占めていると思うが、町長の見解は。

佐藤町長 復興交付金で認められた非常に有利な事業であり、今を逃すと実施は難しい。関連事業とのつながりもあり、議員の考えと同じく地域の理解を得て進めることに對して協力は惜しまない。

豊間根地区排水路整備は

26年度調査実施に予算計上

問 今日まで必要性を訴えてきた。具体的施策を問う。

佐藤町長 特に大雨で排水不良となる地区に幹線

の整備を行う。26年度に整備計画を策定し、総合発展計画の新規事業として採択し、実施年度を検討する。

山田線の位置づけと今後の展開は

利用者目線に立ち鉄路復旧を

問 JRによる山田線の早期復旧を切望し鉄路を中心とした町づくり計画を進めてきたが、その根拠を覆したとも思える提案が出されてきた。影響について問う。

佐藤町長 運営を三鉄にどの提案がJRからなされた。さまざまな課題が多く早急な判断は困難であるが、沿線市町、県をはじめとした関係機関と連携し、鉄路復旧に向け取り組んでいく。

問 高台への集団移転・人口減の現実を含め、町民は生活しやすく安心してきる交通体系で、沿線の町の負担が少ないことを望んでいると思う。

再度検討し町民アンケートなどの実施が必要なのは。
佐藤町長 JRからの提案をすぐ受け入れるものではない。鉄路を守るために何をしなければならぬのかを基本に考えていく。

その他の質問

- ◆ 山田町復興計画について
- ◆ 水産業について
- ◆ 商工業について
- ◆ 観光について
- ◆ 雇用について
- ◆ 住環境について
- ◆ 再生可能エネルギーについて
- ◆ 国保、介護について
- ◆ 被災者の生活支援等について
- ◆ 学校教育について
- ◆ 職員訓示について
- ◆ 復興教育の推進について
- ◆ いじめ対策について
- ◆ NPO問題について
- ◆ より透明性を持つた行政の可視化策について